

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	YMCAひかりの子			
○保護者評価実施期間	2024年9月15日 ～ 2024年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同敷地内の児童クラブとの交流が可能	平日は近くの公園で一緒に遊び長期休暇中はお互いが楽しく関われるプログラムを多数企画している。ミーティングで児童クラブのスタッフと合同の時間を作り、日々シェア出来るようにしている。	子どもたちが主体となって遊びのプログラムを企画、準備し、児童クラブの児童を招待して交流する。
2	同じ団体の放デイとの交流が可能	長期休暇中のプログラムでは、一緒に楽しめてお互いが馴染みやすい環境を整えている。	年上の子が年下の子をサポートするような異年齢、異発達段階の子の関係性を促す。
3	チャレンジトリップ(土日開所)をし、異学年との交流が可能	土日開所として、3か月に1度、秋にお泊り会を企画し日常生活では体験できないことを通して、異学年との関わりを大切にしている。	「食事係」「火起こし係」「レクリエーション係」など、年齢や特性に応じた係を設定し責任感を育む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	BCPなどのマニュアル関連の説明、周知が十分でない。	マニュアル関連書類について作成していても保護者の手の届きやすい場所においてない。	全保護者が手に取りやすく、より分かりやすい位置にマニュアル用のファイルを準備する。また配置していることを改めて周知する。
2	保護者との連携が職員によって差があること。	連絡帳や口頭でのやりとりが多く、情報共有が属人的になりがちなこと。	対応の統ルールを整備。記録のデジタル化。
3	子どもによって活動への参加に差が出やすいこと。	活動のねらいは明確でもどうすれば多様な子が楽しめるかという視点が不足しがち。	職員間で「入りにくい子」に注目し、その支援方法を共有する時間をつくる。